

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新河岸校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用いただくお子様や保護者様への理解	日々の支援内容の伝達だけでなく、おうちのご様子や学校での様子をお伺いすることで、お子様が抱える困り感や課題、保護者様のお悩みについて共感的理解ができるよう取り組んでおります。	引き続きお子様や保護者様との関係性の構築を重視しながら、専門的視点をもって取り組んで参ります。
2	定期的なモニタリングに基づく適切な個別支援計画の作成	モニタリングの際には支援に関わるだけでなく、お子様に関わることを包括的にお伺いし、保護者様のお悩みやお子様の課題を汲み取り、お子様の発達に合わせて個別支援計画を作成しております。	日々のフィードバックでもお子様の状態について適宜確認を行い、支援に迅速に活かすことができるよう取り組んで参ります。
3	相談支援やご要望への迅速な対応	承った相談内容やご要望は職員間ですぐに共有を行い、次回支援への取り入れや対応可能職員への取次を行っております。	情報共有方法の明確化を行い、ご相談内容に対してより正確に対応ができるよう工夫して参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや父母の会、きょうだい向けのイベント等の家族が参加できる研修会や情報提供の機会が十分でない。	現在ご契約をいただいている保護者様からのご要望が少ない。	ご希望に応じて対応ができるよう、体制を整えて参ります。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会が十分でない。	現在ご契約をいただいている保護者様からのご要望が少ない。	ご希望に応じて対応ができるよう、体制を整えて参ります。
3	事業所の設備等について、障害特性に合わせた環境設定が十分でない。	建物の老朽化に伴い、各所に課題が生じている。	日々の清掃や、可能な限りでの補修に加え、ヒヤリハットでの危険個所の共有により、随時安全確保に努めて参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「きらり」新河岸校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2025年 12月 24日

回収数 47名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	8			集中しやすい広さだと思いますが、遊ぶ時には狭く感じる。	お子様の安全や楽しく活動できる環境へ配慮し、今後も継続して臨機応変に対応してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	47			1	個別に対応してもらっているので、安心して利用することが出来ている。	今後も継続して人員を安定させられるよう運営してまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41	5		1	建物の構造上段差は多い。	段差がある場合など、事前に声掛けを行い注意喚起を促して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	3			出入口付近のタイルがつるつるでやや斜めになっているので段差も高いので危なく感じます。	雨の日等危険が考えられる日は皆様にお声掛けをする等、事故のないよう対応して参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47				きらりは先生、よその事業所はスタッフという感じがする。	お子様により近い存在として過ごすことが出来るよう、課題感や保護者の方から頂いたご相談事は常に職員間で共有し、お子様の理解に努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	44			3	子どもに合わせたプログラムを毎回組んでもらっているので楽しく通えています。	お子様一人一人の発達に合わせた、楽しく取り組める療育を目指し、今後も継続して参ります。
	7 こどものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47				モニタリングを丁寧に行ってもらい、きちんとその内容を反映してもらっていると思う。	保護者の方のお話しを丁寧に伺いし、お子様の発達や保護者の方の困り感に寄り添った個別支援計画を作成してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	47				要望から子どもに合わせた内容に丁寧に擦り合わせをして下さっているので、分かりやすい内容が設定されています。	お子様の発達に合わせ、お子様や保護者の方の困り感から適切な支援内容を選択し、わかりやすく具体的な計画を作成して参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	47				支援内容を最後にきちんと伝えてもらえるので、計画に対しての支援内容がわかりやすい。	支援内容に対してきちんと目的を持ち、お子様の発達と計画に沿った支援を出来るよう努めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	44	1		2	毎度違う先生がそれぞれ楽しく支援をして下さっているので、楽しみにしているようです。	お子様が楽しく支援を受けていただけるよう、今後も工夫しながら支援を行って参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	20	7	12	8	「きらり」以外の子どもとの交流は特に求めている。	必要に応じて準備及び対応をして参ります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47				不明点があれば説明してもらっている。	分かりやすいことや誤解がないことを心がけ、今後も説明を行って参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	47				必要に応じて計画を見せてもらっています。	個別支援計画と乖離することのないよう、個別支援計画を参照しながら引き続きお伝えをして参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	7	1	11	特に希望しません。保護者同士の交流の機会等は特に求めていない。	必要に応じて準備及び対応をして参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	47				毎回のフィードバックで相談をさせてもらっています。	お子様の近況や支援の効果確認等を毎回の支援で確認し、お子様の現状により即した支援を継続して参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	3		1	声掛けの仕方を普段の生活にも参考にさせて頂いていただいております。	お子様のご様子を適宜行わせていただき、お子様や保護者様が安心して生活できるよう継続して行って参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47				相談事には同意をして下さった上でアドバイスをいただくことが多いので非常に助かります。	今後も保護者の方との関係性の構築を第一に、共感や傾聴を心がけて参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	10	11	9	特に希望しません。保護者同士の交流の機会等は特に求めていない。	必要に応じて準備及び対応をして参ります。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	46			1	フィードバックの時に必ず声をかけてくださるので、相談がしやすいです。	お子様の支援中のご様子をお伝えするだけでなく、保護者様からのお話しもお伺いすることが出来るよう、引き続きお声掛けをして参ります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	46	1			相談内容が子どもに聞こえないよう配慮してもらっている。	お子様や保護者の方のお気持ちを第一に考え、皆様が気持ちよくご利用出来るよう、引き続き対応をさせていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	39	3	2	1	Instagramみてます！	教室に関することが皆様にもご理解いただけますよう、今後とも様々な形で発信をして参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45				先生方から他のお子さんの話を聞いたことはないです。	ご利用者様の個人情報等々は鍵のかかる書庫に保管しております。また、プライバシー保護の観点から、職員から他児を必要以上に紹介することは行っておりません。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	44	2		1	毎月防災訓練のお知らせがあるので、実施されていると思います。	年間予定に基づき、各種防災訓練を行い、定期的にマニュアルの確認・更新を行っております。皆様にもご理解いただけますよう尽力致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	4		6	救出の想定があるかは分かりません。	事業所では様々な場合を想定し、各種訓練を行っております。避難や救出が必要な場合にも対応が出来るよう訓練を行い、皆様に開示して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	2		2	十分に気を遣ってもらっています	非常時に備えた対策計画を各種マニュアルと共に作成しております。引き続き皆様にご安心してご利用いただけるよう、適宜ご説明を行いながら運営をして参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	44	2		1	支援で転んだ際にも毎度ご説明いただき、その後の連絡ももらっています。	事故のないよう心がけて運営を行っておりますが、万が一発生した場合は速やかに保護者の方へご報告をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	47				親も安心して通わせています。学校や家以外の安心して相談できる場所として有難く思っています。	お子様が安心して過ごせるよう、環境の設定や支援内容には常に心がけております。今後も継続して教室運営をして参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	3		1	とても楽しみにしていて、意欲的に通っています！	お子様には楽しくご利用いただけるよう、今後も毎回の支援準備から心を込めて行って参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	46	1			今の先生方は安心して預けることができます。今後ともよろしく願います。	引き続き皆様にご満足いただけるよう、努力して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新河岸校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	パーテーションや支援目標及びその内容に合わせた支援ブースの選定等を通して教室内環境の設定を行っている。	継続して臨機応変に対応して参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	受け入れ人数に対する人員数は適切であり、日によっては余剰人員を確保することが出来ている。	職員数の確保を引き続き目指し、余剰人員の継続的な確保や安全面での強化に努めて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	段差が各所多くある為、転倒等による怪我のないよう声掛けを行っている。	ご利用の皆様が十分に支援に意識を向けることが出来るよう、適切な環境整備を行って参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の清掃や衛生管理に加え、支援終了後の消毒作業などに職員全体で取り組んでいる。	継続して皆様安心して支援を受けることができるよう、衛生注意して運営して参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	個別支援中心のため、基本的には個別ブースの使用となっている他、必要に応じて支援室外でのクールダウンの対応を行っている。	それぞれの支援内容に十分に意識を向けることが出来るよう、引き続き適切な環境の設定を行って参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	適宜職員間で情報を共有し、振り返りを行っている。	各自で時間管理を行い、定期的に職員間で話し合いの場を設けられるよう、継続して参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に一度保護者様へ事業所評価のお願いをしている。	保護者様からの意見には職員間で情報共有し、日々業務改善に努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	必要に応じて話し合いを行い、サービスの質の向上へと繋げている。	職員それぞれが意見を述べる事が出来るよう機会を設けながら、よりよいサービスへと繋げることが出来るよう継続して参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者機関との提携はあるものの、評価自体は受けていない。	現在は実施をしておりませんが、今後に関しましては必要に応じて実施ができるよう体制を整えて参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月各種研修や研修受講の為に補助が為されている。	発達研究所主催の研修や事業所内研修、外部研修などへ継続して参加できるように、今後も努めて参ります。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	個別支援計画をもとに各プログラムを作成、フィードバックにて毎回保護者様へ共有を行っている。	保護者の方の御意向やお子様の発達をその都度反映した、適切な支援プログラムを立案することが出来るよう毎度保護者の方とご相談しながら支援を継続して参ります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	日々の支援をもとに、指導員間で相談しながらアセスメントを実施した後、保護者の方とのモニタリングを経て、発達に応じた個別支援計画を作成している。	アセスメントや計画作成の段階では俯瞰した視点を持ち、お子様の発達や課題に即した計画が立案できるように努めて参ります。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	作成の際には職員全員が回覧・検討を行い、お子様の発達やご要望に即しているか確認を行っている。	ご利用の皆様のご最善の利益を念頭に、よりよい発達を臨むことができるよう、引き続き取り組んで参ります。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画作成後は個人ファイルだけでなく支援用ファイルにも保存し、毎回の支援に反映することが出来るよう取り組んでいる。	保護者の方へご希望をお伺いしながら、個別支援計画に沿った支援を今後も継続して参ります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	社で定められたアセスメントシートを利用しながら、必要に応じて特記項目にお子様の詳細事項を記入して状況の確認をしている。	お子様の成長に合わせた適切なアセスメントを行い、個別支援計画へ活かしていけるよう今後も努めて参ります。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	お子様の発達や生活環境、保護者様及びお子様のご要望を踏まえながら計画内容を設定し、その内容に即した支援内容が記載されていると思う。	お子様の状況や皆様のご希望に即しながら、誰にでも分かりやすい個別支援計画の作成を心がけて参ります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	支援内容へのご希望やご相談があった際に全体共有を行い、支援の方向性を確認・立案を行っております。	日々の支援内容に至っても共有することが出来るよう心掛けて参ります。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	毎回の支援プログラムの詳細は担当指導員に一任されているため、楽しく支援を受けることが出来るよう考案されている。	今後も楽しくお通いいただけるよう、お子様のお好みに合わせた支援を提供して参ります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	継続的な集団療育を提供していない。	現在は集団療育を定期提供しておりませんが、ご要望に応じて検討して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	必要に応じて話し合いを行い、支援時間の連携を取っている。	お子様の情報共有の場が明確に設けられるよう、工夫をして参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	必要に応じて話し合いを行い、支援時間の連携を取っている。	お子様の情報共有の場が明確に設けられるよう、工夫をして参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎回の支援結果を担当指導員が原則3営業日中に入力完了している。	支援終了後は速やかに記録の入力を行い、次回支援への参考にしております。今後も支援の質の向上のため、継続して参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングの他、保護者様のご要望に応じてモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性の確認も併せて行っている。	お子様の成長や現在の課題感に即した個別支援計画が作成されるよう、引き続き実施して参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	担当者から見たお子様の現状だけでなく、支援員からも意見を募り、お子様を総合的に捉えた状態で参画している。	お子様のよりよい発達の為、お子様を多角的に捉えた状態で皆様とかがかりが持てるよう、今後も対応して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	保護者様のご要望に応じて、障害福祉・保育・教育等の関係機関連携を実施している。	今後もご要望に応じて実施することが出来るよう、体制を維持して参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	お子様の発達や生活年齢に合わせて支援及び連携を行っている。	ご利用いただいている皆様が安心して生活することができるよう、今後もインクルージョン推進の観点を持った支援も実施して参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	ご希望に応じて実施する体制はあるが、実際に実施はしていない。	ご希望に応じて実施できるよう、体制を整えて参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	お子様の発達に関して情報共有を行うことはあるが、生活に関する内容や送迎その他の対応は現在行っていない。	ご希望に応じて実施できるよう、体制を整えて参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	お子様の年齢と必要に応じて保護者様のご要望に合わせて実施を行う場合がある。	ご希望に応じて実施できるよう、体制を整えて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	対象のお子様がない。	必要に応じて実施出来るよう、体制を整えて参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	担当者会議を実施することがあるが、地域柄接触回数は非常に少ない。	必要に応じて連携を取ることが出来るよう、体制を整えて参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	個別での対応を行っているため、交流の機会は設定していない。	必要に応じて機会を設けることが出来るよう、体制を整えて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	時間が合わないことが多く、参加できていない。	積極的に参加することが出来るよう、調整を行って参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	フィードバックや支援中の時間に、保護者様から話を聞く機会を設けている。	お子様を多角的に捉えるため、保護者様との共通理解が常に為されるよう、今後も努めて参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	必要に応じて情報提供は行っているが、研修等は行っていない。	皆様のご要望に応じて実施することが出来るよう、体制を整えて参ります。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	変更が生じた際やお問い合わせを頂いた際、また支援終了時に適宜説明を行っている。	ご契約をいただいている皆様に齟齬のないよう、丁寧に説明をしております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングを丁寧に実施し、お子様や保護者様のご意思を確認し、お子様の発達に照らし合わせながら作成を行っている。	お子様や保護者様のご意思の捉え違いのないよう、今後も丁寧なモニタリングを意識して行って参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	個別支援計画内容の意図に加え、実施できる支援内容の説明を行い、ご同意いただけるようご説明している。	皆様に分かりやすく齟齬のない個別支援計画を作成出来るよう、継続して努めて参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	フィードバックの際にご家庭のご様子に関してもお話しを伺い、必要に応じて家族支援の時間を設けている。	支援内容だけではなく、ご家庭や学校でのお悩みに関しても相談しやすい環境を作ることが出来るよう、継続して努めて参ります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	現在は実施をしていない。	ご希望に応じて実施が出来るよう、体制を整えて参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談や申し入れがあった場合は迅速に共有・対応を行っている。	お気軽にお声掛けいただけますよう、今後も努めて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	ブログやInstagram、LINEを利用して活動概要や行事予定等の情報を発信している。	今後も沢山活用して参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報に該当する書類は全て鍵付き書庫に保管している。	今後も継続して対応を行って参ります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	お子様一人一人の特性に合わせ、個別に対応を行っている。	今後も安心してご利用いただけるよう、お子様それぞれに合わせた対応を努めて参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	地域住民の方を対象とした運営は行っていません。	必要に応じて実施することが出来るよう、検討を行って参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	各マニュアルを策定し、職員だけでなく保護者様も閲覧ができる場所へ設置をしている。	分かりやすさを向上できるよう、工夫して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	月に一度非常訓練を行い、必要な訓練を実施している。	安全を確保した上で、ご利用いただいている皆様にもご参加いただけるよう検討を行って参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	1	モニタリングと併せて服薬状況を確認し、必要に応じて職員間で共有を行っている。	日々の体調不良や季節ごとの予防接種状況に関しても確認をするよう努めて参ります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	食品提供を行っていない。	機会がありましたら必要な対応を取れるよう、確認を行って参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	年間の安全計画に基づき、防災訓練を実施している。	引き続き安全管理を十分に行った上で、支援を提供できるよう努めて参ります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	防災訓練時にはお子様や保護者様への対応を含めて行っている。	皆様に安心してご利用いただけるよう、十分に周知するよう努めて参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	報告書を作成し全体共有を行い、改善策も併せて検討されている。	皆様に安心してご利用いただけるよう、安全に配慮しながら継続して運営をして参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	委員会を設置し、定期的に研修を行っている。	適切な教室運営を継続できるよう、今後も努めて参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	個別支援計画だけでなく、別途身体拘束同意書を作成し予め説明を行っている。	実際に発生した例はございません。	